

町長の

# あやめ日記

## 協働まちづくりフォーラムの皆さんに感謝

現在、平成23年度を初年度とする第5次総合計画を策定中ですが、この計画に反映させるため、5月15日に「町民と町が協働で取り組むまちづくり」について、協働まちづくりフォーラムの皆さんから提案を頂きました。

これは、一般公募・地区推薦・団体推薦・職員で構成する総勢74名のフォーラムの委員が、テーマ・地域別の9チームに分かれ、昨年9月9日から計10回のワークショップを開催してまとめられたものです。

私たちの町はいま、収入不足のなか少子高齢化社会による新たな福祉施策の支出増などで厳しい財政状況にあります。

また、長久手町が平成23年に市制を施行する予定で、近い将来、名古屋東部地域で東郷だけが「町」として残ってしまいうことが現実のものとなってきました。

東郷町も人口41,500人で、「市と同格だから市制を敷いたらどうか」と言



委員から提案書を受け取る  
川瀬町長(5月15日)

われる人がいますが、「市」になるためには、地方自治法第8条に人口5万人以上を有することとされ、さらにそのほかの必要要件が定められています。

東郷町の将来人口は、第5次総合計画の最終年次である平成34年で45,000人と推計しており、まだ、単独で人口要件を満たすのは難しく、枠組みについても考えていかなければなりません。このような状況の中のまちづくりは、町民と行政の協働が必要不可欠です。から、今回頂きました提案を、極力総合計画に取り入れ、その施策実施に当たっても皆さんに参画していただける仕組みを作っていきます。

委員の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも「住んでよかったといえるまち」づくりにご協力いただきますようお願い申し上げます。

ありがとうございます。

## 知ってみよう

# いろいろな国

## 『インドネシアの言語』

インドネシアは約500の民族からなり、方言を入れて約700の言語があります。

ジャカルタやスラバヤのような大きな町以外では、インドネシアの民衆は生まれてから家庭内でそれぞれローカル語(地方語)を使います。

小学校から少しずつインドネシア語を勉強して、4年生からは全部インドネシア語の授業になります。

そして、インドネシア語が習得できると、民族同士でのコミュニケーションが取れるようになります。

ジャカルタやスラバヤでは、色々な民族が入り交じり、他民族との結婚がよく見られることから、民族という感覚自体が薄くなっていきます。

そのような家庭では、次の世代からは常にインドネシア語を使用しています。



インドネシア人は、一般的にローカル語とインドネシア語の少なくとも2つの言語が話せますが、日本に来ているインドネシア人は、その他に英語、日本語などいろいろな言語を話せる人が多く、珍しいことだと思います。

インドネシアは2005年愛知万博一市町村一国防レンドシップ事業の交流国です。



筆者プロフィール:RONI  
スラバヤ市出身。  
平成18年4月から名古屋大学大学院で日本語を研究中。